

令和5年度 定例幹事会総会開催報告書

令和5年6月3日(土) 横浜看護学校において、四年振りとなる対面での定例幹事会総会が開催され、令和4年度活動報告・会計報告、令和5年度活動計画案・予算案が全会一致で承認されました。また、今後の活動について意見が交わされました。

議事要旨

出席幹事：井坂（1）、地蔵（3）、井上（6）、浅野（8）、渡部（8）、寺澤（9）、米澤（10）
大幡（12）、市川（13）、大津（15）、杉山（17）、甲田（25）、関谷（56）
遠山（56）、武士（58） 以上15名
出席役員：佐竹（20）、清水（29）、西原（41）、村上（47）、濱（14）、川口（16）以上6名
役員欠席者：東山（37）、元田（47）、野澤（49） *()内数字：回生
委任状：27名 幹事欠席連絡：2名
学校より出席：山岸副校长
司会：清水 書記：西原

I. 開会の辞

総会参加者21名、委任状27名で合計48名は、同窓会役員・幹事合計92名の5分の1以上にあたるためこの会は成立する。

1. 会長挨拶

2020年は5年に一度の総会を計画し段取りもできていたが中止になった。本日は4年振りの対面での幹事会総会で、今までにない高い出席率となった。今後の活動について活発なご意見をお願いしたい。

2. 役員幹事出席者自己紹介

II. 議題

1. 学校近況報告 山岸副校长

4月に61回生が入学した。コロナ禍においては学内実習もあったが、病院の理解の基、病院実習の場を設けてもらうことができた。令和4年度卒業生全員が国立病院機構に就職し、1名を除き神奈川県内の病院であった。本校同窓生が多く、丁寧に指導をして頂いたため安心して就職先として選択したと感じる。本校は、今年度60周年を迎える。記念誌作成を行うので、写真提供・記念誌購入など同窓会に協力を頂きたい。同窓生の動向調査アンケートを行うため住所の情報提供をお願いしたい。学校の式典では同窓会から温かな言葉や花を頂戴するなど、学校を支援して頂いていることに感謝申し上げる。学生は60周年という伝統ある学校に入学し、同窓会が学校を大事にしてくれていることを感じている。今後も支援をお願いしたい。

【審議】

看護学校創立 60 周年記念誌発行のため同窓会会員住所の情報提供を行うことについて審議を行った。同窓会事務局は学校に置き、また、同窓会会則 21 条個人情報の取り扱いについて学校への情報提供は同窓会活動の範疇に入ると解釈し、学校と同窓会連名で調査書を発送するという意見にまとまった。

【審議結果】この審議について全員挙手で承認された。

2. 令和 4 年度活動・会計報告（資料参照）

書記より活動報告、会計より会計報告があった。

会計監査より、会計に不正がないことが報告された。

会計監査報告後、全員挙手で承認された。

3. 令和 5 年度活動計画案・会計案（資料参照）

書記より活動計画案、会計より予算案について報告があった。

役員会・同窓会活動のあり方について話し合いを行い、新型コロナ第 5 類となつたが、活動については例年通りの計画・予算とし、今後については幹事会総会出席者の意見を踏まえて活動する。

2025 年総会については次年度予算に組む。

予備費がかなりあるため、学校 60 周年の記念品を送ってはどうか。

【審議】

コロナ禍で活動できず予備費が増えているが、これほど予備費を残す必要はないので、予備費範囲内で学校が希望する品物を贈るという意見にまとまった。

【審議結果】

学校に記念品を贈呈することに全員挙手で賛同した。記念品の金額については上限 100 万円とし全員挙手で賛同した。

活動計画案・予算案について全員挙手で承認された。

4. その他

1) 令和 5 年度新役員について

令和 4 年度は副会長が年度途中で不在となっていたため、会計東山さんが副会長へ変更し、新役員に野澤さんが加わった。

【令和 5 年度役員紹介】

会長 佐竹 一枝 (20)

副会長 清水 敦子 (29) 東山 景子 (37)

書記 元田 聰美 (47) 西原 理枝 (41)

会計 村上 祐子 (47) 野澤 楓 (49) 新役員

会計監査 濱 法子 (14) 川口 妙子 (16)

2) 令和5年度役員推薦委員会発足について

役員自身で次の役員を探しており、役員選出に苦渋している。
大幡洋子さん（12）が再び今年度推薦委員を引き受けってくれることとなった。
また、役員をしていただける方がおりましたら役員へお知らせください。

3) 同窓会活動について検討

【役員より現状報告】

同窓会の目的は会員相互の親睦を図るであるが、コロナ禍では思うように活動ができていない。役員会は、同窓会誌発行等のためコロナ前はほぼ毎月行っており役員の負担は大きく、役員任期2年を超えているが次の役員がなかなか見つからない。そこで、昨年度同窓会の存続について全会員から往復はがきで意見をもらう計画をしていたが、看護学校から同窓会は存続するようにというお話があった。

同窓会誌「楓葉」は、2020年度作成したが、感染対策のため有志で行っていた発送準備ができず、個別発送はせずホームページに掲載することとなった。事業費のうち会誌に占める割合が74%（印刷・発送費約50万円）と高いが、住所変更届がなく会誌を届けられない方が3割もいる。毎年会員増加に伴い同窓会誌の支出は今後増加するため、会誌発行を紙面からホームページ掲載へ変更するなど検討が必要と考える。

【意見交換】

- ・年齢的にPC操作は苦手なのでなるべく会誌は印刷物でほしい。
- ・会誌はHPでよい。HPのPRをした上で切り替えてはどうか。5年に一度の総会時に会誌を印刷物にしてはどうか。
- ・会誌を紙で見たいが、役員の負担が大きいのが問題であり5年に1回でもよい。
- ・「楓葉」が届くと学校を懐かしく思い出す。いきなりやめるのではなく5年に1度でよいと思う。
- ・同窓生とは繋がりを続けていて看護学校は思い出深い。役員が数人で頑張っているのが現状であり、役員の負担になるのはよくない。HPで同窓会活動を知らせていくといい。
- ・HPがあることを知らなかった。HPを利用して活動する流れの方がよい。
- ・同窓会誌は始めからあったわけではなく、看護学校が少なくなっていく中で同窓会を盛り上げようという目的で作った。役員の負担を考えると同窓会が存続するためには役員の負担にならないように時代に合わせたやり方を見つけていくのがよい。同窓会活動を楽しんでやっていけたらいい。
- ・世の中がペーパーレスになっているのでHPで見るのはいいと思う。同窓会を誇りに思っているので、負担だと考えるより変化させていったらしい。会誌が届くのは楽しみでもあるが負担とお金を考えると5年に一度でよい。
- ・会誌が負担になっていると聞いてHPを見ている。毎年会誌が届くのは嬉しかった。一度にすべてを変えるのではなく移行期を経て負担軽減になるとよい。看護学校は青春時代を過ごしているので特別の思いがある。

- ・会誌を発行していた頃（コロナ前）は、夜勤明けで役員会に来る人がたくさんいた。現役で働いている人に役員をお願いするのも無理があると感じていた。会誌も最終的に動くのは会長であり会長の負担が大きい。役員の負担を軽くして活動を続けるか考えていく時期だと思う。
- ・会誌がHPにあることを初めて知った。紙で来ても読んだら捨ててしまうのでHPでよいと思う。
- ・初めて幹事会に参加して、話を聞いてこんなに大変だとは思わなかった。会誌が来た時の嬉しい思いもあると思うので徐々にえていけたらいいと思う。HPの方が慣れている。
- ・コロナ禍の学生生活でリモートやPCが主流になっている。記念に残るのも大事なので徐々に移行するといい。

同窓会活動にあたり、ホームページを活用するなどして会員の困惑がなるべく少ないように工夫する。また、楓葉祭の参加について、感染対策などあるため学校の方針に従って検討する。

以上、会誌作成やホームページ活用など、同窓会活動について、役員会に一任することを全員挙手で賛同した。

*ご意見、住所変更等がありましたら看護学校の同窓会本部へ、
メール・FAX・郵便でお知らせ下さい。

219-yokohama-school@mail.hpsp.go.jp （学校同窓会ウェブサイト）

以上

令和4年度 同窓会活動報告

- 令和4年 6月 4日 役員幹事会、役員会
(コロナウィルス感染症拡大防止のため役員のみでオンライン開催)
- 9月 30日 60回生戴帽式（祝電・お花）
- 令和5年 3月 2日 58回生へ同窓会説明、同窓会費集金
- 3月 3日 58回生卒業式 会長列席
(祝電・お花・卒業生へプレゼント贈呈)
- 4月 7日 61回生入学式 会長列席（祝電・お花）
新入生・保護者へ同窓会説明
- 5月 役員会（幹事会に向けてオンラインにて話し合い）
・活動計画・会計・会計監査・同窓会誌等について

令和5年度 同窓会活動計画(案)

- 令和5年 6月 4日 幹事会総会（看護学校にて）
- 7月以降 役員会
「楓葉」発行及びホームページ活用の検討等
＊役員会開催は対面またはオンラインで開催する
- 10月 61回生戴帽式（祝電・お花）
「楓葉祭」参加 59回生・保護者へ同窓会説明
- 令和6年 3月 59回生同窓会費集金と同窓会説明
59回生卒業式（祝電・お花）
- 4月 62回生入学式（祝電・お花）
新入生・保護者へ同窓会説明
- 5月 役員会（6月幹事会総会の準備）